



1 学期終業式 式辞

4月6日にスタートした1学期も今日で終了します。今日まで授業日数は71日を数えました。みなさんの71日間はどうかだったでしょうか。71日前の始業式の日「フシをつくる」お話しをしました。竹は、弱そうですが、実はとても強い植物で、それは『フシ』があるからというお話でした。しっかりとした『フシ』があるから、まっすぐ空に向かって伸び、しなやかで折れない強さがあり、その生長の過程は、私たち人間の成長の過程と同じで、目標に向けて取り組み、みんなで頑張り、逃げずに粘り強く取り組んだり、失敗から学んで成功につながりながら『フシ』をつくりましょうということをお話ししました。1学期を終えるにあたり振り返ってみましょう。みなさんはどれくらい『フシ』をつくることができましたか？



先生方は、勉強・行事・部活動など多くの場面でみなさんが逃げ出さずに、立ち向かい、成し遂げることで自信をつけていく姿をたくさん

見ることができ、しっかりとした『フシ』ができていったことを確信しました。みなさんもできるようになったこと、失敗を恐れず堂々と自信を持って挑戦したことなど、自分自信でも成長した手応えを実感できたことでしょうか。大きく、しなやかに、堂々と久賀の青い空に向かって立派に成長しました。さて明日から42日間の長い夏休みに入ります。授業はありませんが、みなさんの心と体と頭脳の成長に休みはありません。夏休みにしかできない勉強や体験をたくさんして、十分に栄養を蓄えてください。また、中学生は部活動がありません。自主トレをしながら自分と向き合い体と心を鍛え、折れない自信を育ててください。さらに中学3年生は、受験勉強にも取り組んで、来たる進路選択と真剣に向き合う準備をしてください。

今年は、まさしく勝負の夏です。日本全国に散らばり、それぞれの場所で自分を更に高め、2学期からの挑戦に向けた準備に努めましょう。そして、9月には全員が笑顔で元気に登校することを楽しみにしています。



久賀島の醍醐味 海の会

16日(土)野園港において育成協および公民館による「海の会」が開催されました。この2年間は感染症拡大に伴い規模を縮小しての開催でしたが、本年度は検査等の条件はありましたが、島外から実親さんにもお越しいたき、楽しい時間を過ごしました。



前日の大雨も上がり、恵まれた天候の中で船釣り(防波堤釣り)から始まりました。濱村さん、小島さん、宮本さん、片山さんの船にそれぞれ乗船させていただき、沖釣りを楽しみました。ベラやアラカブ、アカジョにオジサンと普段釣れない魚を次々に釣り上げ、興奮の船上でした。久賀島の豊かな海を満喫しました。港に戻り、昼食(感染症対策のため弁当)と海水浴を楽しみました。プール以外で全員で泳ぐのは初めてでした。美しく澄んだ久賀の海に魅了され、いつまでも泳ぎたかったそうです。最後は、恒例のスイカ割りを行いました。交互に挑戦して全員で準備した全部のスイカを割ることができました。小玉でしたがとても甘くておいしいスイカでした。多くの地域の皆様にご協力していただき、島の魅力を満喫した子ども達でした。夏休みには地元に戻ります。地元にはない久賀の素晴らしさを味わった1日になりました。



久賀ならではの取り組み

13日(水)島根県隠岐島の海士中学校と交流学習を行いました。当日は、新聞社(16日長崎新聞掲載)や複数のテレビ局(13日NHK長崎で放送)の取材もあり、いつも以上に緊張気味でしたが、堂々と久賀島の素晴らしさを発表しました。この発表内容は自分たちで調べ、実際に現地を訪れたり、話を聞いて感じ取ったりしたものです。地元の人



には当たり前すぎてつかみ取れない新鮮な視点で島の魅力を紹介しました。相手の海士中学校の発表も真剣に聞きながら、久賀島との相違に関心を高めていました。

同日の午後からは、授業参観とPTAでした。授業参観は水泳記録会として実親さんにもリ



モートで参加していただき、熱い声援をいただきました。遠く離れていても、子どもの成長を見守ることができる久賀ならではの取り組みです。これからも機会を設け、久賀島で成長する姿を発信していきます。夏休み期間中もタブレットPCを使い、リモート登校日(8月9日)を実施する予定です。

お知らせ

4年生の大木直樹君、6年生の森江里さんが家庭の事情により1学期で転校することになりました。短い期間でしたが、多くのものを学びました。新しい環境でも頑張ってくれるものと信じています。

久賀小中学校のホームページ

<http://hisakashochu.tn.goto-tv.ne.jp/>

